



子どもから大人までみんなで田植え



黄門さま御一行が熱演



土師の歴史など、難しい質問も



実践しながら楽しく学びましょう

米作りで国際貢献
5月26日(土) 坂原
百人委員会の企画で、休耕田を利用した田植えが行われ、約90人が参加しました。育てたお米はケニアの孤児院に送られます。この活動を通して、子どもたちが心豊かに広い視野を持つて育つてもらいたいと、3年前から続けています。活動には地域の方々や鳥取大学の留学生らも参加し、田植えが終った後には昼食を兼ねた交流会が行われました。秋にはみんなで収穫予定です。

敬老会に黄門さま
5月20日(日) 旧那岐小学校
那岐地区敬老会で、那岐女性消防団員がAEDを使用した心肺蘇生法の実演をしました。水戸黄門御一行様に扮した団員が、あなじみのテーマソングにのって登場すると、会場内の視線は御一行様に釘付け。コミカルな演技と実戦的ながらの発表に、笑いと拍手の嵐が巻き起こっていました。
※智頭町は百人委員会の提言を受け、新たに町内の公共施設10ヶ所にAEDを設置しました。



竹下るみ子さん



真剣に取り組む団員



汗を流しながら下刈り



どうだんつつじ展示即売会場

日頃の活動に感謝
5月18日(土) 平成21年4月から現在まで、行政相談委員として、住民の行政に対する苦情解決に尽力されている竹下るみ子さん(奥本)に、総務省鳥取行政評価事務所長から感謝状が贈呈されました。

贈呈を受けて「今後もただ『役場への橋渡し』だけでなく、地域や住民の役割と行政のバランスに理解を求めるながら、行政相談委員として活動したい」と抱負を述べておられました。

地域防災

6月10日(日) 旧山郷小学校

智頭町水防訓練が山郷地区的干代川が氾濫したという想定のもと行われました。

智頭町内で活躍している各消防団が集結し、普段訓練を行う機会の少ない木流し工(樹木と土のうを使い護岸の浸食を防ぐ工法)・積み土俵工(土のうを積み上げ河川の氾濫を防ぐ工法)を実施しました。

智頭町の安全は、こうした住民の日頃の訓練によつて守られています。

日本たばこ産業(JT)グループの社員、慶所集落及び関係者など約110人が参加し、森林保全活動を行いました。

10回目となる今回は、雪起こし、下刈りなど、参加者は汗を流しながら作業を行いました。その後、地元「あじさいk-e-i-j-oグループ」の皆さんが準備した、採れたての山菜を使った天ぷらやタケノコの煮物をいただき、地元食材たっぷりの昼食に舌鼓を打ちました。

森林保全活動

5月19日(土) 慶所

第36回智頭どいだんまつりが好天のなか開催され、3日間で、約1万人が訪れました。

ドウダンツツジの展示即売会では、生産者に育て方を聞きながら、鉢を選ぶ姿が会場内の至るところで見られました。

今月の広報表紙を飾つてくれたのは、第35代どうだん娘の迎山千花さん(20歳・写真右)と赤堀友美さん(23歳・写真左)です。

今年も大賑わい

5月18～20日 町民グラウンド

第36回智頭どいだんまつりが好天のなか開催され、3日間で、約1万人が訪れました。

天のなが開催され、3日間で、約1万人が訪れました。